

地域サポートセンター よいどこい

第31号

発行日

平成26年10月5日

よいどこいの理念

その本人の存在感が最期までそこにある暮らしを支援する
その人らしく最期まで生ききる暮らしを支援する
楽しく、明るく地域の方と地域の中にとり続ける



おめでとうございます

今月は、今年で82歳になられる方のお誕生日会でした。皆さんから御祝いの言葉を伝えられると、一人一人に「ありがとうございます」とお礼を言われる律儀な姿勢はぜひ見習いたいです。来年もいっしょにお祝いしましょうね。おめでとうございます!!

(川村)



敬老会

府中地区で敬老会運動会が予定されていましたが、あいにく天候が悪く、運動会は行われませんでした。公民館で地域の皆さんの歌や踊りなどが披露され、参加させて頂いた私達もご利用者さんと一緒に楽しい一時を過ごしました。府中の皆様、ありがとうございます。

お昼からはよいどこいでも赤飯や煮物などを囲みながらの御祝いでした。

ご利用者さんから、毎日、色々な事を学ばせて頂いています。ありがとうございます。これからも元気で長生きしてください。

(スタッフ一同)



お彼岸入り

お彼岸になり、皆さんとおはぎを作りました。炊きたてのもち米を手に取り、「あちなっ」とおっしゃられながらも、丁寧に丸められ美味しいおはぎが出来ました!!
なかには、「作るよっかん食べかたんほうがすっじゃ」と、おっしゃられる方も。。。(笑)
一緒に作って、一緒に食べるおはぎは、また一段と趣があり味も格別でした!!



(川村)

よいどこい豆知識

* 今月の研修から日常でもお役に立てる事をご紹介します *



バリテーション法という対話の仕方についてご紹介いたします。

認知症を患っている方との対話方法で、自分の精神を集中し、相手に感情を合わせ、その方の思っている事を共感、共有する方法です。

15の言語的、非言語的テクニックがありますが、その中でセンタリング(精神の統一、集中)の仕方をピックアップします。

- ① 下腹に神経を集中させます。
- ② 鼻から息を吸い込み、口から蜘蛛の糸を吐き出すように、ゆっくり細く吐き出す。
- ③ 全ての思考を止め、呼吸に意識を集中させる。
- ④ これを数回繰り返す。

やってみては、いかがでしょうか?とても落ち着いた気持ちになると思います。(川村)

* 地域交流スペースの予定 *

《10月の予定》

- ・年金者組合(2日)
- 「地域のひろば」
(霧島市「地域のひろば」推進事業)
- ・アロマ教室(7日)
- ・ふちゅうジェヌ体操教室(21日)



ピアノも利用できます

《 10月の予定 》

- 全体会議(1、20日)
- 運営推進会議(29日)
- 外部研修
- 向花校区グランドゴルフ大会(26日)

＜先月のお客様＞

- 地域の方々
- ご利用者のご家族
- 他事業所からの見学者

(事業内容)
小規模多機能型居宅介護

鹿児島県霧島市
国分府中町17番8号
電話0995-48-8877

地域サポートセンター
よいどこい

発行責任者:黒岩 尚文
ホームページ



10月に入り、稲刈りをされている風景を、目にするようになりました。10月初めに台風が立て続けにきたので、今年は早めに稲刈りをされた方が多かったと思います。よいどこいでも新米を頂き、皆さんで食べました。ふっくらとしてとても美味しいでした。日本人で良かったと実感するひとときですね(^◇^)
今月号が編集の都合で発行が遅れましたこと、お詫びいたします。

編集 > 原野・川村